

【概要】

クリプトン回収技術開発施設の屋外に設置された水素供給設備は、1983年から脱酸素処理工程への水素供給を行い、2002年に設備の使用を停止しました。

当該設備は、老朽化が進んでおり、他施設に先行して除染・解体に着手する施設の一部であること、東海再処理施設に津波が襲来した際に漂流物になる可能性があること等から、優先して解体撤去を実施しました。

解体作業では、水素タンク(2基, 高さ約18 m×直径約3.6 m)の周囲に足場を組み、クレーンで吊り上げながら、上部よりガス溶断にて細断し、撤去しました。

[作業期間: 令和2年9月7日～令和2年11月30日]



解体撤去工事前



解体撤去工事後